単体電話機アダプタ／IP単体電話機アダプタ 取扱説明書

このたびは、ネットコミュニティシステムαNX単体電話機アダプタ／IP単体電話機アダプタをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

NX-SLAP〈1〉

NX-IPSLAP〈1〉

技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- ネットコミュニティシステムαNX 単体電話機アダプタおよびネットコミュニティシステムαNX IP単体電話機アダプタは、接続する主装置により、機能や操作が一部異なる場合があります。また、ネットコミュニティシステムαNX IP単体電話機アダプタは、接続する主装置によりご使用になれない場合がありますので、詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。本書では、接続する主装置としてネットコミュニティシステムαNX typeS/typeM、接続する一般の電話機としてハウディ・クローバーホンSⅢを例に説明しています。
- 一般の電話機、コードレス電話機、ファクス等との接続点は、電話網の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、受信文書の全部、または一部が消失したり、通話、録音などの機会を逸したために生じた損害または主装置に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。接続する主装置に登録されました情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。

⚠ 警告

設置について

●本商品や電源アダプタのそばに水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品や電源アダプタを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
- 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所

●本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、本商品の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。
次のような設置のしかたはしないでください。

- 本商品を仰向けにする。
- 本商品を収納棚や本箱、配電ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
- 本商品をじゅうたんや布団の上に置く。
- 本商品にテーブルクロスなどをかける。
- 本商品の周りに物を置いて、通風孔をふさぐ。

⚠ 警告

お取り扱いについて

●電源アダプタをお使いの場合、電源はAC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグは、電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

●電源アダプタは必ずオプションの電源アダプタ（K）-099（☛P30）を使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

●万一、煙が出ている、変なにおいがする、異常音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、本商品への接続コードを差込口から抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 警告

お取り扱いについて

- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、本商品への接続コードを差込口から抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品から異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、本商品への接続コードを差込口から抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。
- 本商品や電源アダプタに水をかけたり、ぬれた手で電源プラグや本商品への接続コードを抜き差ししないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、本商品への接続コードを差込口から抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠ 警告

お取り扱いについて

- 万一、本商品内部や電源アダプタに水などの液体が入ったり、本商品をぬらした場合は、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、本商品への接続コードを差込口から抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります。）
- 本商品の接続コードや電源アダプタコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張たり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると本商品への接続コードや電源アダプタコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。本商品への接続コードや電源アダプタコードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品の接続コードや電源アダプタコードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、本商品への接続コードを差込口から抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

⚠ 警告

お取り扱いについて

●近くに雷が発生したときは、本商品への接続コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。電源アダプタをお使いの場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品や本商品への接続コード、電源アダプタコードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや本商品への接続コード、電源アダプタコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●電源アダプタをお使いの場合、電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●お客様がご用意された機器を本商品に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は、絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●本商品を移動させる場合は、本商品への接続コードを差込口から抜いて、電源プラグを電源コンセントから抜いたことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

設置について

●本商品を次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所
- 振動、衝撃の多い場所

お取り扱いについて

●本商品の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。

●本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

●本商品のお手入れをするときは、安全のため必ず本商品への接続コードを差込口から抜き、電源プラグを電源コンセントから抜いて、行ってください。

●電源アダプタをお使いの場合、本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

お願い

設置について

- 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器、携帯電話など)。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通話ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 放送局や無線局などが近く、本商品の誤動作を招くおそれのあるときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 硫化水素が発生する場所(温泉地)や、塩分の多いところ(海岸)などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。
- 本商品を積み重ねて使用しないでください。本商品を2台以上使用する場合、積み重ねて設置すると、内部に熱がこもり、キャビネットの表面が熱くなることがあります。

お願い

お取り扱いについて

- 本商品をベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 電源アダプタをお使いの場合、電源プラグを抜いたままにしないでください。電源が入っていないと使用できません。
- ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。
- 本商品への接続コードや電源アダプタコードなどを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- コネクタに異物を差し込んだり、端子面を触らないでください。故障の原因となることがあります。

この取扱説明書の見かた

本書は、単体電話機アダプタ、IP単体電話機アダプタ共通の取扱説明書です。特に記載のない場合、「本商品」とは単体電話機アダプタおよびIP単体電話機アダプタを示します。

この取扱説明書の構成

1 お使いになる前に
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

2 電話をかける／受ける
電話をかけたり、受けたりする基本機能について説明しています。

3 ファクスを受信する
ファクスに転送する手順などを説明しています。

4 より便利に使う
1 ～ 3章までの内容のほかに、利用できる便利な機能について説明しています。

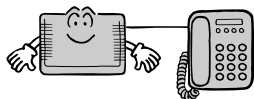
5 ご参考に
仕様／保守サービスなどについて説明しています。

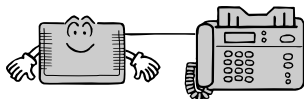
操作説明のページ構成

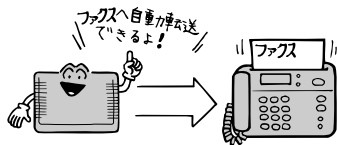
目　次

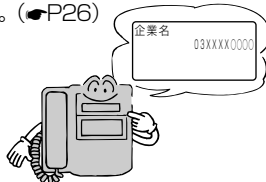
特　長

一般の電話機をシステムに接続

本商品をシステムに接続すると、一般の電話機を内線電話機としてご利用になれます。

ファクスをシステムに接続

本商品をシステムに接続すると、ファクスをご利用になれます。

ファクスを自動転送

本商品をシステムに接続すると、電話をかけてきた相手がファクスのときは、自動的に本商品に接続されたファクスへ転送できます。

ナンバー・ディスプレイ／ネーム・ディスプレイに対応

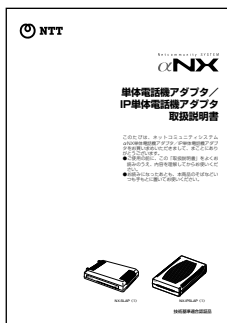
かかってきた相手先の電話番号や名前を画面に表示できるサービス（有料）に対応しています。（☛P26）

お知らせ

- 一般の電話機、ファクスなどの種類によっては接続できないものや、一部機能がご利用できないものがあります。
- 単体電話機アダプタは、主装置から電源の供給を受けています。主装置が停電で機能しない場合は、単体電話機アダプタも動作しません。
- IP単体電話機アダプタは、給電HUBまたはオプションの電源アダプタから電源の供給を受けています。停電で給電HUBまたは電源アダプタが機能しない場合は、IP単体電話機アダプタは動作しません。
- 本商品に接続したファクスの電話機接続用端子には、一般の電話機を接続しないでください。

セットを確認してください（単体電話機アダプタ）

■本体

単体電話機アダプタ

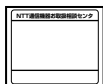
■付属品

NTT

Netcommunity SYSTEM
αNX

単体電話機アダプタ／
IP単体電話機アダプタ
取扱説明書

このたびは、ネットコミュニティシステムαNX単体電話機アダプタ／IP単体電話機アダプタをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

NX-SLAP〈1〉　NX-IPSLAP〈1〉

技術基準適合認証品

取扱説明書（1部）

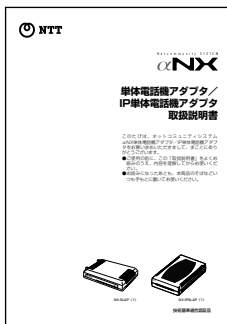
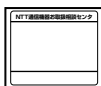
NTT通信機器
お取扱相談センタシール（1枚）

● セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

1 お使いになる前に　セットを確認してください（IP単体電話機アダプタ）

■本体

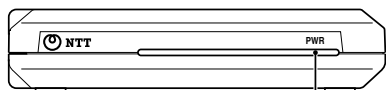
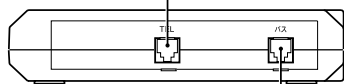
IP単体電話機アダプタ

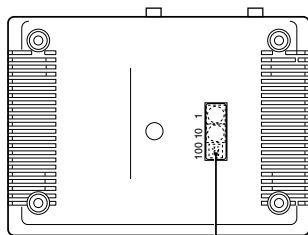
■付属品

取扱説明書（1部）

NTT通信機器
お取扱相談センタシール（1枚）

● セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

各部の名前（単体電話機アダプタ）

【前面】

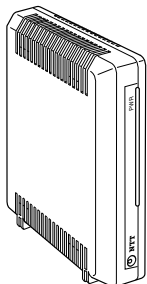
【背面】

電話機接続コネクタ（TEL）
一般の電話機と単体電話機アダプタの接続に使用します。

内線バス／スター接続コネクタ（バス/スター）
主装置と単体電話機アダプタの接続に使用します。

【底面】

工事者設定用スイッチ

【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつき方	本商品の状態
PWRランプ（緑）	点灯	正常動作中
	点滅	自己診断中
	消灯	電源が供給されていないとき（電話機コードが内線バス/スター接続コネクタに差し込まれていないか、主装置の電源を切ったとき）

ワンポイント

●**本商品は縦置きもできます。縦置きするときは図のように本体左側を下にして設置してください。ただし縦置きは、倒れやすくなりますので、ご注意ください。**

STOP お願い

●電話機コードを接続するときは、「TEL」「バス／スター」コネクタを間違えないようにしてください。間違えて接続すると使用できません。

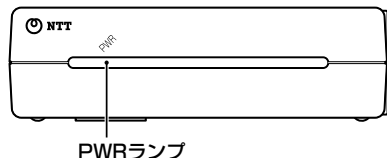
●主装置の内線と本商品の内線接続コネクタには、バスとスターという形式があります。主装置の内線の形式と本商品の内線接続コネクタの形式が一致していることを確認のうえ、本商品を接続してください。間違えて接続すると使用できません。

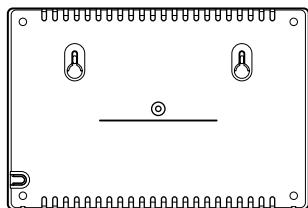
●工事者設定用スイッチは、工事者による設定となります。変更すると、ご利用できなくなります。

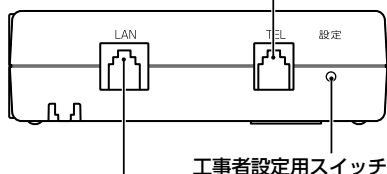
お知らせ

●内線接続コネクタにはバスとスターという形式があります。本書はバス／スター共通の取扱説明書になります。

各部の名前（IP単体電話機アダプタ）

【前面】

【底面】

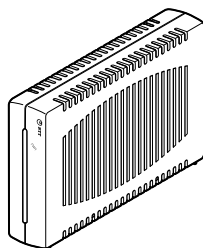
【背面】

電話機接続コネクタ（TEL）
一般の電話機とIP単体電話機アダプタの接続に使用します。

工事者設定用スイッチ

LANポート
LANケーブルを差し込み、給電HUBなどに接続します。

【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつき方	本商品の状態
PWRランプ（緑）	点灯	正常動作中
	点滅	自己診断中
	消灯	電源が供給されていないとき（給電HUBなどに接続されていないか、その電源を切ったとき）

ワンポイント

●本商品は縦置きもできます。縦置きするときは図のように本体右側を下にして設置してください。ただし縦置きは、倒れやすくなりますので、ご注意ください。

お知らせ

●給電HUBを使用できないときは、電源アダプタ（オプション）を使用してください。（☛P30）

お願い

●電話機コードを接続するときは、「TEL」「LAN」コネクタを間違えないようにしてください。間違えて接続すると使用できません。
●工事者設定用スイッチには触らないでください。

電話をかけるには　　（外線発信）

外の相手の方に電話をかけるときは、ダイヤルする前に外線発信番号（⓪［　　］）を押します。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツーツー…」という内線発信音が聞こえます。

約25秒以内に手順2の操作を行ってください。

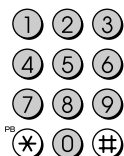
約25秒を超えると、話中音が聞こえます。

2 外線発信番号（⓪［　　］）を押す。

「ツー」という外線発信音が聞こえます。

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
PB ⊛⓪⊕

3 相手の方の電話番号をダイヤルする。

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
PB ⊛⓪⊕

4 相手の方が出たら、お話しする。

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

お知らせ

●手順1でハンドセットを取りあげたとき、接続した主装置のオフフック外線発信設定によって次のどちらかの状態になります。
- 「ツーツー・・・」という内線発信音が聞こえ、内線の呼び出しができる（オフフック内線捕捉）
- 「ツー」という外線発信音が聞こえ、外線の発信ができる（オフフック外線自動捕捉）オフフック外線自動捕捉を設定しているときは、外線発信番号（⓪［　　］）を押す必要はありません。ハンドセットを取りあげるだけで外線に電話をかけることができます。

●手順2で「プープー…」という音が聞こえるときは、すべての回線が使用中のため、電話をかけることはできません。しばらくしてから、かけ直してください。

●続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセットを約3秒以上置いてからダイヤルしてください。

●手順2では、「ツー」という外線発信音を確認してからダイヤルしてください。発信音を確認しないでダイヤルすると、電話がつながらなかったり、誤った相手にかかることがあります。

●自動ダイヤル機能がある一般の電話機などをお使いの場合は、外線発信番号（⓪［　　］）の後にポーズを入れ、その後に相手の方の電話番号を登録してください。

●IP単体電話機アダプタをお使いの場合、アナログモデム通信を行ったときや通話中に音声ガイドなどでプッシュ信号の入力を行ったときは、回線の状態によっては通信に失敗することがあります。

電話がかかってきたときは（外線着信）

電話がかかってくると、着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげるだけで電話を受けることができます。

着信音が鳴ったら…

1 ハンドセットを取りあげて相手の方とお話しする。

2 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

ワンポイント

●**お話し中に別の相手からの電話を受けるには（キャッチホン）**

- 「キャッチホン」の信号音が聞こえたら、相手の方に待っていただくように伝え、（フック）ボタンを押し、フッキング信号送出の特番（①⑥⓪［　　］）を押すか、フッキングのあと、フッキング信号送出の特番（①⑥⓪［　　］）を押します。
- コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタン）を押し、フッキング信号送出の特番（①⑥⓪［　　］）を押します。

●**フッキングとは**

電話機のフックスイッチを押すことです。フックスイッチを押し続けると、電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチホン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。

相手の方に待っていただくには（保留）

お話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留にします。
相手の方には保留メロディが流れます。

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝える。

2 （フック）ボタンを押すか、フッキングする。

「ツツツ…」という音が聞こえます。
相手の方には保留メロディが流れます。

3 もう一度お話しするときは、再度フッキングする。

4 相手の方とお話しする。

ワンポイント

●**フッキングとは**
電話機のフックスイッチを押すことです。フックスイッチを押し続けると、電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチホン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。

●**保留にしたときは**
手順2のあとでハンドセットを電話機に置くと、保留したことを忘れないようにするために、電話機から呼び返し音が聞こえます。ハンドセットを取りあげると鳴りやみ、相手の方とのお話しに戻ることができます。

お知らせ

●一般の電話機の保留は他の電話機では取ることはできません。

電話を取りつぐには　（転送）

外の相手の方とのお話しを他の内線電話機に取りつぐことができます。

内線を呼び出して転送する

呼び出す方

1 お話し中に、相手の方に待っていただくよう伝え、(フック) ボタンを押すか、フッキングする。

「ツツツ…」という音が聞こえます。
相手の方には保留メロディが流れます。

2 呼び出す電話機の内線番号をダイヤルする。

呼出音が聞こえます。

3 呼び出された方が応答したら、電話を取り次ぐことを伝え、ハンドセットを置く。

呼び出される方

呼び出されると着信音が鳴る。

1 ハンドセットを取りあげてお話しする。

呼び出した方がハンドセットを置き、外からの電話がつながったら…

2 相手の方とお話しする。

（次ページに続く）

電話を取りつぐには　（転送）

ワンポイント

●**外の相手の方とのお話しに戻るには**
呼び出された方が応答しないとき、またはダイヤルを間違えたときは、もう一度⊘（フック）ボタンを押すか、フッキングしてください。外の相手の方とのお話しに戻ることができます。

●**フッキングとは**
電話機のフックスイッチを押すことです。フックスイッチを押し続けると、電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチホン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。

●**すべての電話機（またはグループの電話機すべて）を一斉に呼び出すには（一斉・グループ呼出）**
「システム設定」されたグループの電話機を同時に音声で呼び出すことができます。「呼び出す方」の手順2で、内線番号の代わりに一斉呼出の特番またはグループ呼出の特番を押します。呼び出された方は、どの電話機からも応答することができます。
一斉呼出の特番とグループ呼出の特番は、本商品を接続する主装置の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

●外の相手の方とのお話しをファクスに転送しないでください。ファクスを呼び出すとファクスが応答して受信中となり、お話しすることができない場合があります。
●本商品に接続した一般の電話機に対して、一斉呼出はできません。

内線でお話しするには（内線通話）

他の内線電話機を呼び出して内線でお話しすることができます。

相手を呼び出す

他の内線電話機を呼び出す。

1 ハンドセットを取りあげる。
「ツーツー…」という内線発信音が聞こえます。

2 呼び出す電話機の内線番号をダイヤルする。
呼出音が聞こえます。

3 呼び出された方が出たら、お話しする。

4 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

呼び出しを受ける

他の内線電話機からの呼び出しを受ける。

着信音が鳴ったら…

1 ハンドセットを取りあげてお話しする。

2 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

ワンポイント

● **すべての電話機（またはグループの電話機すべて）を一斉に呼び出すには（一斉・グループ呼出）**
「システム設定」されたグループの電話機を同時に音声で呼び出すことができます。「呼び出す方」の手順2で、内線番号の代わりに一斉呼出の特番またはグループ呼出の特番を押します。呼び出された方は、どの電話機からも応答することができます。
一斉呼出の特番とグループ呼出の特番は、本商品を接続する主装置の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

● 手順2で内線番号を押し「プープー…」という音が聞こえるときは、相手の方がお話し中か、その内線電話機が接続されていません。お話し中だった場合はハンドセットを置いて、しばらく待ってからかけ直してください。
● 本商品に接続した一般の電話機に対して、一斉呼出はできません。
● 本商品に接続した一般の電話機では、音声呼出を受けても信号呼出になります。

ファクスを受信するには

ファクスが送られてきたときは、自動で受信することができます。
ファクスの受信のしかたには、無鳴動着信を利用する場合と無鳴動着信を利用しない場合の2とおりがあります。

ファクスをお使いになる前の準備

1 本商品とファクスを接続する。

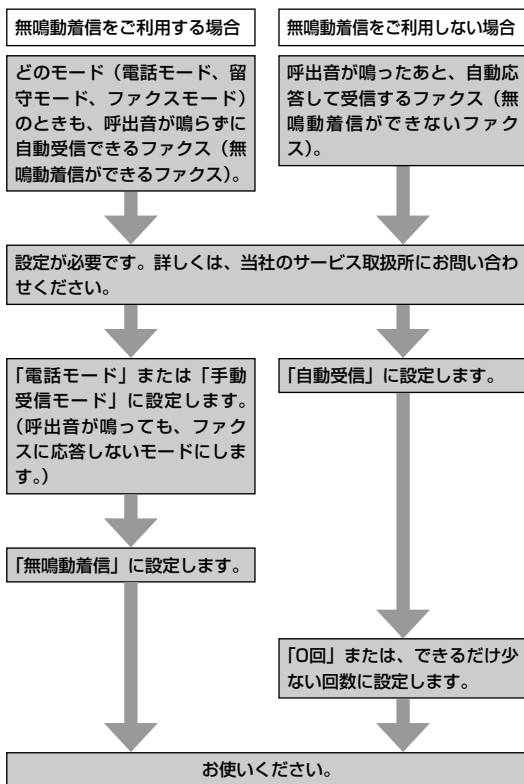
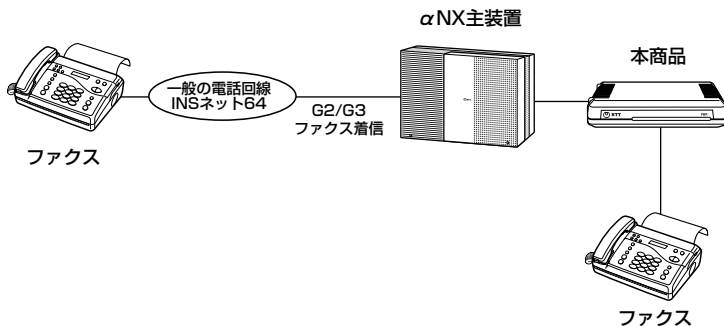
2 お使いのファクスの受信機能を確認する。

3 ファクスを接続するために主装置の設定を行う。

4 ファクスの受信モードを設定する。

5 ファクスが無鳴動着信を利用できる設定にする。

6 ファクスに切り替えるまでの着信回数を設定する。

無鳴動着信をご利用する場合	無鳴動着信をご利用しない場合
どのモード（電話モード、留守モード、ファクスモード）のときも、呼出音が鳴らずに自動受信できるファクス（無鳴動着信ができるファクス）。	呼出音が鳴ったあと、自動応答して受信するファクス（無鳴動着信ができないファクス）。
↓	↓
設定が必要です。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。	（共通）
↓	↓
「電話モード」または「手動受信モード」に設定します。（呼出音が鳴っても、ファクスに応答しないモードにします。）	「自動受信」に設定します。
↓	↓
「無鳴動着信」に設定します。	「0回」または、できるだけ少ない回数に設定します。
↓	↓
お使いください。	（共通）

お知らせ

●無鳴動着信をご利用しない場合、かかってきた電話にファクスが応答し、内線電話機で電話を受けることができないことがありますので、ファクス／電話切替の機能をご利用ください。
また、本商品を接続する主装置によっては利用できない場合もありますので、詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

●無鳴動着信とは、1300 Hz信号による着信を示しています。本機能は接続するファクスおよび主装置によっては利用できない場合があります。詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

●無鳴動着信をご利用になるときは、無鳴動着信に対応したファクスを接続してください。

●留守番電話機を接続すると、ファクスを受信した際に、ファクスの信号音がメッセージとして録音され、携帯電話などへ転送されることがあります。

●IP単体電話機アダプタをお使いの場合、ファクスによっては正常に送受信できないことがあります。

●IP単体電話機アダプタをお使いの場合、回線の状態によってはファクスの画像が乱れることがあります。

ファクス関連機能を設定するには

ネットコミュニティシステムαNX typeS/typeMをお使いの場合は、ファクス／電話の切り替えや、ファクス自動転送が行えるように設定できます。設定は､｢システム管理者｣に設定されている特定の内線電話機から行えます。詳しくはネットコミュニティシステムαNX typeS/typeMの取扱説明書を参照してください。

機能	概要	設定操作
FAX/TEL切替設定	ファクスが送られてきたときに、ファクスへの転送を自動的に行う機能を設定する。	① [メニュー] を押す ② ｢2:システム一括設定｣→｢6:機能登録／設定｣→「6：FAX/TEL切替」を選択する ③ 設定を変更する [0]：解除（お買い求め時） [1]：FAX/TEL切替 [2]：FAX自動転送 [3]：両サービス設定
FAX/TEL呼出回数	ファクスが応答しなかった場合に自動的に外線を切断するまでの呼出回数を設定する。	① [メニュー] を押す ② ｢2:システム一括設定｣→｢6:機能登録／設定｣→「7：FAX/TEL呼出回数」を選択する ③ 呼出回数（3～30）を入力する（お買い求め時：20回） ④ [決定] を押す
F/T切替メッセージ設定	FAX/TEL切替のときに使用するメッセージを選択／録音／確認する。	① [メニュー] を押す ② ｢2:システム一括設定｣→｢6:機能登録／設定｣→「8：F/T切替メッセージ設定」を選択する 〈使用するメッセージを選択する場合〉 ③「0：選択」を選択する ④ 設定を選択する [0]：出荷時設定 [1]：録音メッセージ 〈メッセージを録音する場合〉 ③「1：録音」を選択する ④ メッセージを録音する 〈現在のメッセージを確認する場合〉 ③「2：確認」を選択する ④ 再生されるメッセージを確認する

ワンポイント

●**「システム設定」によりご利用になれるファクス関連機能**

ネットコミュニティシステムαNX typeS/typeMのファクス関連機能には、お客さまが登録・設定できる機能のほか、システムの設置時にあらかじめ「システム設定」で登録・設定しておく機能があります。

「システム設定」により、次の機能をご利用になることができます。詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

- ファクス／電話切替やファクス自動転送を回線ごと、またはダイヤルイン番号ごとに設定する。
- ファクス／電話切替の応答時に流す信号音または音声ガイダンスを選択する。
- ファクスが受信したことをディスプレイに表示させる内線電話機を設定する。

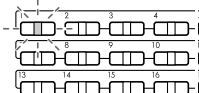
お知らせ

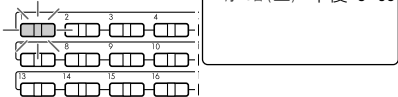
●ファクス／電話切替に関する上記の機能をご利用になる場合は、主装置にオプションの追加が必要です。

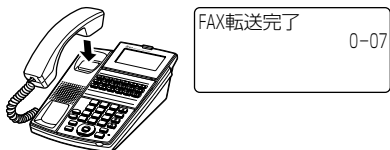
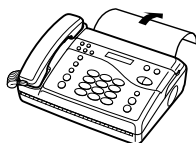
●ネットコミュニティシステムαNX typeL（主装置タイプ）／（サーバタイプ）に本商品を接続してお使いの場合、ファクス関連機能の設定はできません。詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

ファクスへ転送するには（ファクス自動転送）[typeS/typeMのみ]

ネットコミュニティシステムαNX typeS/typeMをお使いの場合は、外線ファクス着信に内線電話機で応答したとき、相手ファクスからの「ポーポー・・・」という信号音を主装置で検出し、本商品に接続したファクスへ自動転送することができます。本機能は、ネットコミュニティシステムαNX typeL（主装置タイプ）／（サーバタイプ）をお使いの場合は、ご利用できません。詳しくは接続する主装置の取扱説明書を参照してください。

1 着信音が鳴り、着信ランプと外線ランプが点滅する。

2 ランプが点滅している外線ボタンを押し、ハンドセットを取りあげる。

「ポーポー…」という信号音が聞こえると、自動的にファクスに転送されます。

3 そのまましばらく待ち、「プープー…」という音が聞こえたら、ハンドセットを置く。

ファクスが応答したとき、内線電話機のディスプレイに「FAX転送完了」と表示されます。

4 ファクスが自動応答し、受信を開始する。

ファクス受信が終わると、自動的に電話が切れます。

ワンポイント

● **ファクスのハンドセットを取りあげたときは**
ファクスの取扱説明書に従って受信してください。

お知らせ

- 複数回線をお使いの場合、複数回線同時に着信があった場合は、先に着信した回線に対して自動転送が行われます。
- 本商品に接続したファクスの設定で、ファクスが応答するまでの着信音の回数は、0回または最小回数に設定するなどして、なるべく短い時間でファクスが応答するように設定してください。
- 留守番機能付ファクスやファクスの種類によっては受信できない場合があります。詳しくは、留守番機能付ファクスやファクスの取扱説明書を参照してください。
- 保留にしたときなど、自動転送できない場合があります。
- ファクス自動転送をご利用になる場合は、主装置にオプションの追加が必要です。

お願い

- キャッチホンサービスをご利用になっている場合には、つぎの点にご注意ください。
  - ・ファクスの送信や受信中に、他の方から電話がかかってくると、画像に線が入ったり、通信が中断してしまうことがあります。キャッチホンサービスをご使用になる外線にはファクスを接続しないでください。複数回線でお使いの場合は、ファクスをよくご使用になる外線と、キャッチホンサービスをご利用になっている外線を区別されることをおすすめします。
  - ・ファクスの送信や受信中に、他の方から電話がかかってきたことはファクスではわかりません。キャッチホンサービスの異常ではありませんのでご了承願います。

ナンバー・ディスプレイを利用するには

ナンバー・ディスプレイ（発信者番号通知サービス）とは、電話をかけてきた相手の方の電話番号がナンバー・ディスプレイに対応した電話機等のディスプレイに表示されるサービスです。アナログ回線、ISDN回線でご利用になれます。

■相手の方の電話番号が表示される条件と契約について

アナログ回線をお使いの場合は、当社とのナンバー・ディスプレイの利用契約（有料）が必要です。

ISDN回線をお使いの場合は、ISDN回線からの着信については、INSネット64 ／ 1500の基本サービスの1つである「発信者番号通知サービス」により相手の方の電話番号の表示が可能です。ただし、アナログ回線（電話網）からの相手の方の電話番号を表示するには、当社とのINSナンバー・ディスプレイの利用契約が必要です。

		受信側			
		一般の電話回線		INSネット64	
		ナンバー・ディスプレイ		INSナンバー・ディスプレイ	
		契約	非契約	契約	非契約
発信側	アナログ回線	◎	×	◎	×
	ISDN回線	◎	×	○	○

◎：ナンバー・ディスプレイの契約により表示可能
○：ナンバー・ディスプレイの契約がなくても表示可能（INSネット64の基本サービスとして提供）
×：表示不可能

■相手の方の電話番号が表示されない場合

相手の方が電話番号を表示しない契約、または表示しないような発信操作を行った場合などは、発信電話番号は表示されません。電話番号が表示されない理由が表示されます。

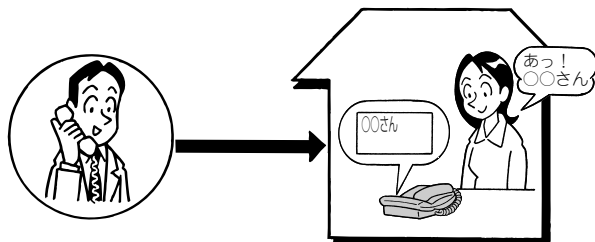
表示※	理　由
公衆電話	公衆電話から電話がかかってきたときに表示します。
非通知	かけてきた相手の方が電話番号を表示しない操作をしたとき、または表示しない契約になっているときに表示します。
表示圏外	「ナンバー・ディスプレイ」を提供していないエリアから電話がかかってきたとき、またはサービスが競合しているため電話番号を通知できない場合に表示します。
受信エラー	一時的な回線の雑音などによりデータが正常に受信できなかったときに表示します。

※表示はお使いになる電話機等により異なります。

お知らせ

●ナンバー・ディスプレイについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
●本商品を接続する主装置のナンバー・ディスプレイの設定について、詳しくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。
●電話機等によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
●電話機等の表示内容は、お使いの機器によって異なる場合があります。
●ISDN回線をご利用の場合は、INSナンバー・ディスプレイをご契約でない場合でも、かけてきた相手の方がINSネットサービス、携帯電話、PHS対応電話機等を利用して発信者番号を通知してきた場合は、電話番号が表示されます。
●ご利用の主装置に追加ユニットが必要な場合があります。
●本商品を接続する主装置がPBX（構内交換機）や他の通信機器などに接続されているときは、ナンバー・ディスプレイをご利用いただけないことがあります。

ネーム・ディスプレイを利用するには

ネーム・ディスプレイ（発信者名通知サービス）とは、ナンバー・ディスプレイのオプションサービスで、電話をかけてきた方の発信者名＊1がネーム・ディスプレイに対応した電話機等のディスプレイに表示されるサービスです。このサービスを利用するためには、別途当社との利用契約（有料）が必要です。（ネーム・ディスプレイのみの利用契約はできません。ナンバー・ディスプレイの利用契約が必要となります。）

＊1：表示される発信者名は、かけてきた相手がNTT東日本またはNTT西日本に申し込みをした名称となります。

お知らせ

- ●ネーム・ディスプレイについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- ●電話機等によっては、発信者名などが正しく表示されないことがあります。
- ●電話機等の表示内容は、お使いの機器によって異なる場合があります。
- ●本商品を接続する主装置がPBX（構内交換機）や他の通信機器などに接続されているときは、ネーム・ディスプレイをご利用いただけないことがあります。

ドアホンとお話しするには

ドアホン（オプション）を接続しているときは、ドアホンからの呼び出しに応答できます。
また、ドアホンの周囲の音を聞いたりすることもできます。

ドアホンからの呼び出しに応答する

ドアホンからの呼び出しがあり、着信音が鳴ったら…

1 ハンドセットを取りあげてお話しする。

2 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。

ドアホンの周囲の音を聞く

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツーツー…」という内線発信音が聞こえます。

2 ドアホン番号をダイヤルする。

ドアホンの周囲の音が聞こえます。
ドアホン側の方とお話しすることもできます。

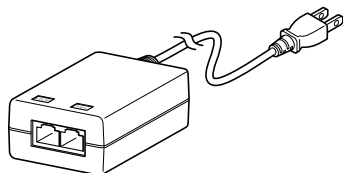
お知らせ

- ドアホンからの呼び出しに応答するときは、約30秒以内に行ってください。この時間を超えると応答することはできません。この時間は「システム設定」で変更できます。
- ドアホン番号は、本商品を接続する主装置の取扱説明書を参照してください。

オプションをご利用になるには

より便利にお使いになるためのオプションが用意されています。オプションをご利用になるときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

■電源アダプタ（K)-099

IP単体電話機アダプタで給電HUBを使用できないときは、オプションの電源アダプタ（K)-099をご利用ください。

●IP単体電話機アダプタへの接続

① αNX主装置またはHUBからのLANケーブルを電源アダプタのHUBコネクタに接続します。
② 電源アダプタのTELコネクタと、IP単体電話機アダプタのLANポートをLANケーブルで接続します。
③ 電源アダプタのプラグを電源コンセント（AC100V）に差し込みます。

索　引

アルファベット

五十音

仕　様

■単体電話機アダプタ

収容電話機	一般の電話機、ファクス
寸　法	幅約164 mm×奥行約117 mm×高さ約38 mm
質　量	約250 g
使用環境	温度：5 ℃～ 35 ℃　湿度：45 %～ 80 %（結露のないこと）

■IP単体電話機アダプタ

収容電話機	一般の電話機、ファクス
寸　法	幅約120 mm×奥行約180 mm×高さ約35 mm
質　量	約280 g
使用環境	温度：5 ℃～ 35 ℃　湿度：45 %～ 80 %（結露のないこと）

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。「保証書」は主装置内蔵電話機または主装置等に添付されています。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしております。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。（修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用部品代をいただきます。）（故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●故障の場合

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120-970413
※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）
受付時間 9：00～21：00
※年末年始12月29日～ 1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120-248995
受付時間 9：00～21：00
※年末年始12月29日～ 1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しております。

環境基準ラベル「ダイナミックエコマーク」について

弊社は、循環型社会構築に向けた環境にやさしい通信機器の提供を推進するために、環境ガイドライン「<追補版>通信機器グリーン調達のためのガイドライン」を設定しております。さらに、より厳しい環境基準を満足した製品をダイナミックエコマーク認定製品と位置づけます。

ダイナミックエコマークは下記条件を満足した製品に適用します。

ダイナミックエコマーク認定基準

<環境に配慮した素材の採用>

- 弊社が指定する含有禁止物質について製品には使用しません。
- 弊社が指定する含有抑制物質については、使用を抑制するとともに物質名・量を管理します。
- 酸性雨で地中に溶け出して人体に影響がある鉛を、製品へ使用することを抑制しています。
- 焼却時にダイオキシン発生の恐れがあるPVC（ポリ塩化ビニル）、非デカブロ系難燃剤以外のハロゲン系難燃剤の製品への使用を抑制します。
- 廃棄やリサイクルのために、製品には推奨プラスチック材料（ポリスチレン等）、推奨金属材料を使用します。
- 取扱説明書等に使用する紙は再生紙を使用し、使用する印刷インキは、オゾン層破壊物質等の含有禁止物質を含まないものを使用します。

<リサイクルしやすい設計>

- 製品のリサイクル可能率を70%以上とします。
- リサイクルを容易にするため、全てのプラスチック製部品に材料名を表示し、リサイクルに支障のない方法で製品名を表示します。

<環境に配慮した梱包材>

- 発泡スチロールの使用量を削減します。

<省エネルギー>

- 省エネルギーを考慮した設計を行います。
- 国際エネルギースタープログラム対象製品は、これに準じた設計を行います。

本商品はダイナミックエコマーク認定製品です。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。　環境を考えて大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://web116.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120-970413
※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は 03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～21：00
※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：0120-248995

受付時間 9：00～21：00
※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

本3026-1（2008.10）
NX-SLAPトリセツ-〈1〉